

ニュータウンの あの頃とこれから

8月
下旬刊

■ 日の里団地 1971-2021 ■

山田雄三・監修

ひのさと記憶プロジェクト実行委員会・編

高度経済成長期の1970年代、全国各地に造成されたニュータウンは、文字通り新しい街だった。

そして半世紀をへて、ここ日の里ニュータウン(福岡県宗像市)は人口1万2000の街として再生の時を迎えている。

どのように生まれ変わればよいのか。

過去の声に耳を傾け、試行錯誤を繰り返しながら、街と生き続ける住民たちの姿が各頁に描かれている。その模索の軌跡とこれからの道すじを描いた、手づくり感あふれる一冊!!

目次から

- I 故郷からニュータウンへ
- II まちをつくる
- III 商店の人々
- IV 子どもたち
- V 未来をつくる
- VI 記憶を積み重ねて
- 日の里年表

定価 1800円(税別)

A5判・250頁

ISBN 978-4-86329-255-0

C0036

《著者の横顔》

山田雄三 (やまだ・ゆうぞう)

福岡大学社会連携センター助教

1978年徳島県生まれ。福岡大学大学院人文科学研究科史学専攻博士課程後期満期退学。福岡大学福岡・東アジア・地域共生研究所研究員を経て現職。大学と地域をつなぐ地域連携コーディネーターを務めるとともに、歴史・防災・男女共同参画・地域福祉をはじめとした多様な分野でまちづくりの実践活動に取り組む。著書に『地域から考える世界史歴史教育の新潮流』(共著、勉誠出版、2017年)などがある。

ひのさと記憶プロジェクト実行委員会

日の里地区の記憶(写真・証言・資料など)を収集・保存し、次世代へと継承していくことを目的に、2017(平成29)年4月に活動を開始。日の里内外から、大学関係、学生、新聞記者、福祉関係、建築関係など多様な職種有志メンバーが集まり活動を行っている。収集した写真や証言は、「日の里まつりの記憶展」(2017年)、「ひのさと記憶プロジェクト展」(2019年)、「ひのさと記憶ミュージアム」(2021年)などの企画を実施し住民へ公開したほか、まちの記憶資源として日の里学園の地域学習の素材として活用されている。

【FAX: 092-726-9886】

地小出版 流通センター 取扱品 書店・帖合 ご担当者様	冊 ニュータウンのあの頃とこれから 日の里団地 1971-2021 定価 1800円+税 山田雄三・監修 ISBN978-4-86329-255-0 ひのさと記憶プロジェクト実行委員会・編
	冊 九州遺産 近現代遺産編 101 定価 2000円+税 砂田光紀 ISBN 978-4-902116-35-9
	冊 イタリア都市の空間人類学 陣内秀信 定価 3500円+税 ISBN 978-4-86329-118-8
	冊 不謹慎な旅 負の記憶を巡るダークツーリズム 木村聡 定価 2000円+税 ISBN 978-4-86329-241-3
	ご注文日 弦書房 〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 URL http://genshobo.com/ e-mail books@genshobo.com 様 [/]